ONKYO®

INTEC
COMPONENT WORLD

本機はムービングマグネット（MM）型カートリッジ専用のフォノイコライザーアンプリファイヤーです。

フォノイコライザーアンプリファイヤー

PE-155
取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

付属品

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
（　）内の数字は数量を表しています。

● オーディオ用ピンコード（1）

● セッティングスタンド（1）

● スタンド取付けネジ（2）

● ソコアシ（4）

● 保証書（1）
● 取扱説明書（本書1）

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■100V以外の電圧で使用しない

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■放熱を妨げない

- 本機にテーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■絶対にカバーははずさない、改造しない

分解禁止

- 本機のカバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。

■水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

■水の入った容器を置かない

●本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■電源コードを傷つけたり、加工しない

●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■電源コンセントにはオーディオ機器以外接続しない

●本機の電源コンセントはオーディオ機器専用です。表示された定格以内でご使用ください。表示された定格以上の機器やヘヤードライヤー・電気こたつなどの電熱器具、オーブン・レンジなどの調理器具は絶対に接続しないでください。
火災・感電の原因となります。

■落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

●雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意

■設置上の注意

●強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

●本機の上に他のオーディオ機器をのせたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

●本機の上に１０kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■次のような場所に置かない

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■接続について

●本機を他のオーディオ機器やテレビ等の機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■電源コード、電源プラグの注意

●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■使用上の注意

●本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

●キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

●お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

●使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用などについても販売店にご相談ください。

●電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

●シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

●表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

♪音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

各部の名称と働き

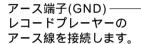
電源インジケーター
電源が入ると点灯し、切れると消灯します。

電源スイッチ（ON/OFF)
電源の入/切を行います。

セッティングスタンド取り付け用穴
付属のセッティングスタンドを
取り付けるときに使用します。

電源コンセント
１００W以下のオーディオ機器を
接続することができます。

電源コード

アース端子(GND)
レコードプレーヤーの
アース線を接続します。

入力端子(IN)
レコードプレーヤーの
ピンコードを接続します。

出力端子(OUT)
アンプ、レシーバー側のライン入力
端子(LINE IN)または補助入力端子
(AUX IN)に接続します。

セッティングスタンドの使いかた

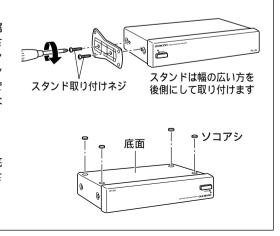
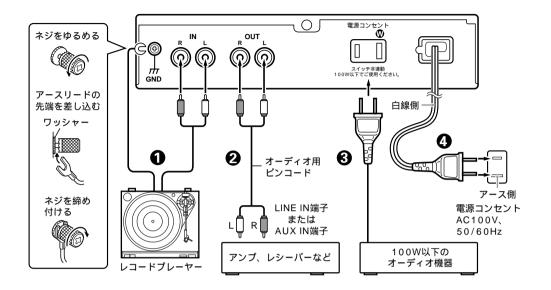
本機を立ててお使いになりたいときは､付属のセッティングスタンドを取り付けてください。本機の向かって左側にセッティングスタンド取り付け用の穴があいています。セッティングスタンドを本機に添わせて､付属のネジで固定してください。付属のネジ以外は使わないでください。

ソコアシの使いかた

本機を横置きでお使いになるときは､本機底面のくぼみにソコアシを貼り付けてください。

接続　すべての接続が完了してから、電源プラグをコンセントに接続してください。

■一般的な接続のしかた

ネジをゆるめる
アースリードの先端を差し込む
ワッシャー
ネジを締め付ける
IN　R　L
OUT　R　L
GND
電源コンセント Ⓦ
スイッチ非連動
100W以下でご使用ください。
白線側
❶ ❷ ❸ ❹
オーディオ用ピンコード
LINE IN端子または AUX IN端子
L　R
レコードプレーヤー
アンプ、レシーバーなど
100W以下のオーディオ機器
アース側
電源コンセント AC100V、50/60Hz

❶レコードプレーヤーとの接続

レコードプレーヤーのピンコードおよびアース線をそれぞれ本機の入力端子(IN)のL、Rとアース端子(GND)に接続します。

ヒント

レコードプレーヤーによっては、アース線を接続するとノイズが大きくなることがあります。
その場合はアース線を接続しないでください。

❷アンプとの接続

本機の出力端子(OUT)をアンプ、レシーバーなどのライン入力端子(LINE IN)または補助入力端子(AUX IN)に接続します。PHONO端子には接続しないでください。

- 付属のオーディオ用ピンコード(赤、白プラグ付きピンコード)を使用し、赤いプラグは(R)側に白いプラグは(L)側に接続します。

ご注意

接続するアンプ、レシーバーによっては端子名が異なることがありますので、アンプ、レシーバーの取扱説明書も併せてご覧ください。

- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねると、音質低下の原因となります。
- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因となります。

❸本機の電源コンセントについて

オーディオ機器の電源プラグを差し込むことができます。

ご注意

- 電源コンセントはスイッチ非連動(容量合計100W以下)で常時通電しています。
  容量を越える機器は絶対に接続しないでください
- 溝の長いほう(Ⓦマーク側)が、電源コードの白線側と同じ極性です。

❹電源コードをつなぐ

電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

よりよい音で聞いていただくために

本機の電源コードは極性の管理がされています。電源コードの片側に白線の入っている側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。

演奏のしかた

1.電源を入れる

電源スイッチ(ON/OFF)を押します。
押すときは本機に軽く手を添えてください。

- 電源インジケーターが点灯します。
- 電源を切るときは、再度電源スイッチを押してください。

2.アンプ、レシーバーの入力をLINE INまたはAUX INに切り換える

接続するアンプ、レシーバーによっては、入力の切り換えかたが異なる場合もありますので、ご使用になるアンプ、レシーバーの取扱説明書も併せてご覧ください。

3.レコードプレーヤーを操作して演奏を始める

演奏のしかたは、ご使用になるレコードプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機はMM型カートリッジ専用のフォノイコライザーアンプです。
- 電源コードを抜き差しする時は、アンプ、レシーバーの音量を下げて必ず電源スイッチ(ON/OFF)をOFFにして行ってください。

仕様

入力感度/インピーダンス	：2.5mV/50kΩ
PHONO最大許容入力	：1kHz 0.5%　70mV
定格出力/インピーダンス	：150mV/3.3kΩ
周波数特性	：20Hz－20kHz/±0.5dB(RIAA偏差)
SN比 (IHF-A、入力ショート)	：80dB
電源	：AC100V　50/60Hz
消費電力	：0.9W（電気用品取締法）
寸法	：205(幅)×47(高さ)×164(奥行)mm
質量	：0.8kg

仕様および外観は予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書
この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは
意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、ただちに電源プラグを抜いてから、修理を依頼してください。

■保証期間中の修理は
万一、故障や異常が生じたときは商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または、当社サービスステーションにご依頼ください。
詳細は保証書をご覧ください。

■修理を依頼されるときは
「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名(PE-155)」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しく、お買い上げ店または当社サービスステーションまでご連絡ください。

■保証期間経過後の修理は
お買い上げ店または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について
当社では本機の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または当社サービスステーションにご相談ください。

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。
万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お客様ご相談窓口

カスタマーセンター 受付 9:30〜17:30 （土日祝、弊社休日除く）
■カタログのご請求、製品についてのご相談
＊e-mail：customer@onkyo.co.jp ＊FAX：072-831-8124
＊TEL：ナビダイヤル0570-01-8111（全国どこからでも市内料金で通話いただけます）
　　　または072-831-8111（携帯電話、PHSから）へどうぞ。
〒572-8540 大阪府寝屋川市日新町2-1

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ→http://www.onkyo.co.jp

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ→http://www.e-onkyo.com

修理窓口

● 製品の故障や修理についてのお問い合わせは、下記のサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

札幌サービスステーション	TEL 011-747-6612	FAX 011-747-6619
	〒001-0028 札幌市北区北28条西5-1-28 トーシン北28条ビル	
仙台サービスステーション	TEL 022-297-0571	FAX 022-257-7330
	〒984-0051 仙台市若林区新寺4-9-5 第二丸昌ビル 1F	
宇都宮サービスステーション	TEL 028-634-4307	FAX 028-634-4308
	〒320-0831 栃木県宇都宮市新町2-7-7	
大宮サービスステーション	TEL 048-651-8612	FAX 048-651-9137
	〒330-0034 埼玉県大宮市土呂町2-29-2 高安ビル 1F	
東京サービスセンター	TEL 03-3861-8121	FAX 03-3861-8124
	〒111-0054 東京都台東区鳥越1-2-3 ハマスエビル	
八王子サービスステーション	TEL 0426-32-8030	FAX 0426-32-8040
	〒192-0914 東京都八王子市片倉町358番地	
横浜サービスステーション	TEL 045-322-9342	FAX 045-312-6603
	〒220-0072 横浜市西区浅間町1-13 共益ビル5F	
名古屋サービスステーション	TEL 052-772-1229	FAX 052-772-1331
	〒465-0013 名古屋市名東区社口1丁目1001番	
大阪サービスセンター	TEL 06-6576-7620	FAX 06-6576-7604
	〒552-0013 大阪市港区福崎2丁目1番地49号	
広島サービスステーション	TEL 082-262-3315	FAX 082-262-6571
	〒732-0057 広島市東区二葉の里2-8-28	
高松サービスステーション	TEL 087-868-5662	FAX 087-868-5672
	〒760-0079 高松市松縄町44-8 西原ビル1F	
福岡サービスステーション	TEL 092-418-1357	FAX 092-418-1358
	〒812-0006 福岡市博多区上牟田3-8-19 みなみビル202	

2000年11月現在 お客様相談窓口、修理窓口の名称、住所、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。

ONKYO®
オンキヨー株式会社

本社 大阪府寝屋川市日新町2-1 〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.onkyo.co.jp/

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくは最寄りのサービスステーションへお申し出ください。
●東京サービスセンター ☎ 03(3861)8121 ●大阪サービスセンター ☎ 06(6576)7620

SN29343036

Printed in Japan G0012-1